

# 地域と協働してよりよい社会づくりに貢献します

快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、良き企業市民として、地域・社会の皆さまとの協働による共生活動を推進します。

## 2013トピックス

- ▶ 事業活動を通じて得た知見やノウハウを活かし、出前授業や地域プロジェクトへの協力などを、九州各地で実施しています
- ▶ 地域に密着した事業形態を活かして、地域見守り活動への参画など、地域課題の解決に協力しています
- ▶ 会社と社員が一体となって、地域のイベントのスタッフ協力や災害復旧などのボランティア活動に積極的に取り組んでいます

## 地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み

### 地域・社会共生活動基本方針

当社は創業以来、地域社会の発展と地域との信頼関係が当社の持続的な発展の基盤であるとの認識の下、2006年4月に活動を行ううえでの指針として「地域・社会共生活動基本方針」を制定し、さまざまな地域・社会共生活動に取り組んできました。

### 地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

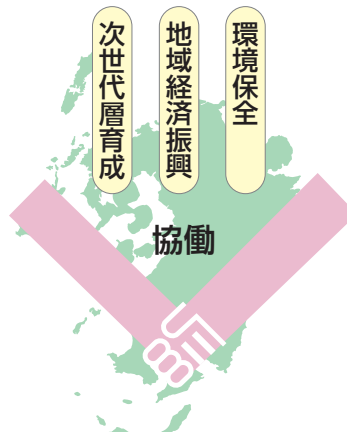
### 地域との協働による取組みと

#### 人的貢献を中心とした顔が見える活動の充実

当社は、地域・社会共生活動を通じた持続可能な社会づくりに貢献するため、「次世代層育成」「地域経済振興」「環境保全」を重点取組分野に掲げ、様々な活動を展開しています。

活動に際しては、地域の課題を的確に把握するとともに、地域と共に考え、共に行動する「協働」による取組みを通じたコミュニケーションを推進し、地域の課題解決に向けて地域の皆さまと一緒に取り組むこととしています。

また、2013年度以降は、地域プロジェクトへの協力や地域の見守り活動への参画、社員参画によるボランティア活動の展開など、人的貢献を中心とした顔が見える活動に積極的に取り組んでいます。



## 次世代層の育成

持続可能な社会をつくるのは「人」であるとの認識のもと、次代の九州を担う子どもたちの可能性拡大や、能力向上への貢献を目的とし、エネルギー・環境問題への関心喚起を中心とした次世代層育成の取組みを展開しています。

### ～次世代層支援プロジェクト「九電みらいの学校」～

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに感性を豊かにすることを目的に、九州各地で様々な活動を展開しています。



#### ◎ 出前授業

小学校高学年から中学生を対象として、当社社員等が講師となって学校で授業を行う「出前授業」に取り組んでいます。

「電気をつくる仕組み」や「省エネ」など、4つのテーマについて、見て、触れて、体験しながら、エネルギーに関する生きた知識を、子どもたちに身につけてもらっています。

2013年度は、計343回 約12,741名の子どもたちに学んでもらうことができました。

#### ◎ エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的として、2003年から「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動は、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行うことで、小さなお子さまに環境へ配慮することの大切さを伝えています。

2013年度までの11年間に計2,600回以上実施し、およそ18万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

#### ◎ 運動部によるスポーツ教室

当社の「シンボルスポーツ」と位置づけるラグビー部「キューデンヴォルテクス」では、地域の皆さまから愛され、親しまれるチーム作りを行うとともに、各地域の少年ラグビーチーム等への指導やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。



出前授業



エコ・マザー活動

また、当社グループ社員によるバスケットボール部「九州電力アーティサンズ」でも、バスケットボール教室を開催しているほか、「柔道部」や「テニス部」などでも、スポーツを通じて、地域の子どもの育成に取り組んでいます。



ラグビー教室(宮崎県延岡市)



バスケットボール教室(福岡県大牟田市)

## ●九州地域の高度ICT(情報通信技術)人材育成

情報通信本部では、九州経済連合会の先導的ICT人材育成施策と連携し、九州地域の学生に対して部門が持つ高度な情報通信技術の実践習得を支援しています。

2013年度は、実践インターンシップとして福岡大学、九州工業大学から学生を3か月程度受け入れ、通信ネットワークの設計や評価といった当社の実際の業務を担当しながら、高度な技術やノウハウを習得するための教育を行いました。

また、北九州市などが主催する情報通信技術利活用実験に毎年参加・協力し、参加学生に対して技術的な実践指導を行っています。

### 実践インターンシップに参加して

福岡大学大学院  
寺内 周平 さん



社内のネットワーク構築に携わることで、断片的なネットワークの知識ではなく、実用的なネットワーク技術を学ぶことができました。

また、データセンター、ネットワークセンターの見学や、実際に社内のネットワークに使用する機器の検証試験といった貴重な体験もさせていただきました。

このインターンシップではネットワーク技術に関する知識だけでなく、仕事に対する考え方や姿勢も学ぶことができ、非常に多くのものを得ることができました。

## 地域経済振興への協力

当社では、地域の課題解決を目的として産学官で連携して行う地域プロジェクト等に対し、当社の持つノウハウや知見を活用し、積極的に協力しています。

各支社においては、自治体等との協働による地域活性化策の検討や地域に根ざした地場産業振興のための物産展の支援など、様々な取組みを展開しています。

## TOPICS >>> 地域の皆さまと共に考え、魅力あるまちづくりに貢献

当社は、PFI<sup>\*1</sup>等の官民協働事業をはじめとして、地方自治体が抱える課題の解決に向けて地域の皆さまとの協働により、九州各地のまちづくりに取り組んでいます。

エコミュージアム<sup>\*2</sup>の考えに基づき、文化庁指定の伝統的建造物や日本棚田百選「つづら棚田」を活かした「浮羽まるごと博物館構想」を推進するため、当社は、2013年12月に九州大学大学院人間環境学研究院、地域住民で構成される「うきは市都市と山村交流プロジェクト協議

会」及びうきは市との4者間で協定を締結しました。

当社は民間企業としての視点を活かし、「浮羽まるごと博物館協議会」の一員として、官民協働によるまちづくりに関する検討を支援します。なお、この取組みは産学官民が連携したモデル事業として、環境省自然環境局「地域活性化支援事業」と福岡県農林水産部「農山村との絆モデル事業」の助成を受けています。

※1 PFI(Private Finance Initiative) 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術を活用して行う手法。

※2 エコミュージアム

1960年代にフランスで提唱された概念。地域の歴史、文化、自然、産業、歴史的建築物等について、住民自らが自分の経験に基づいたガイドやサービスを提供することで、その地を訪れる人々を魅了し、自らの生き甲斐や誇りにつながるもの。



地域の皆さまを交えたまちづくりワークショップの様子

## TOPICS >>> 「薩摩焼フェスタ」への協力(鹿児島支社)

鹿児島支社は、伝統工芸産業支援を通じ、地域活性化及び次世代層育成を図ることを目的に、「第24回薩摩焼フェスタ」の開催を支援しました。

本フェスタは、県や市、陶業協働組合等で構成する「薩摩焼フェスタ実行委員会」主催で「薩摩焼」を広く県内外の方々を紹介する目的で開催され、今回で24回目を迎えました。

期間中は県内外から多数の方々が登場し、「チャリティーオークション」や「子供陶芸作品展」など、多種多様な催しを楽しまれました。また、「子供陶芸作品展」では、「九州電力(株)鹿児島支社長賞」

を設け、個性あふれる素敵な作品を表彰させていただきました。



支社長賞を受賞した作品



表彰の様子

## 環境保全の推進

設備形成や運用など事業活動に伴い環境負荷を発生している電気事業者としての社会的責任を果たすため、低炭素社会づくりをテーマとする地域プロジェクトへの参画や地域との協働による「九州ふるさとの森づくり」な

ど、地域環境の保全に資する取組みを積極的に展開しています(P70~72「環境にやさしい企業活動を目指します。『社会との協調』」参照)。

## TOPICS >>> 環境イベントで次世代向けのエネルギー教室を出展(地域共生本部)

地域共生本部は、2013年10月に福岡市役所ふれあい広場で開催された「環境フェスティバルふくおか2013」(実行委員会事務局：福岡市環境局)に出展しました。小さなお子様からご年配の方まで、2日間で約1,000名の方に当社が出展するブースを訪れていただき、自転車発電機や手回し発電機による発電体験や、電気に関するクイズを通して、環境や節電・省エネについて楽しく学んでいただきました。

訪れた方からは、「空調の設定温度変更による節電効果の大きさや、LED・蛍光灯・白熱電球の消費電力の違いに驚いた」、「日常何気なく使っている電気のありがたみが分かった」、「節電・省エネを心がけたい」などのご感想をいただきました。

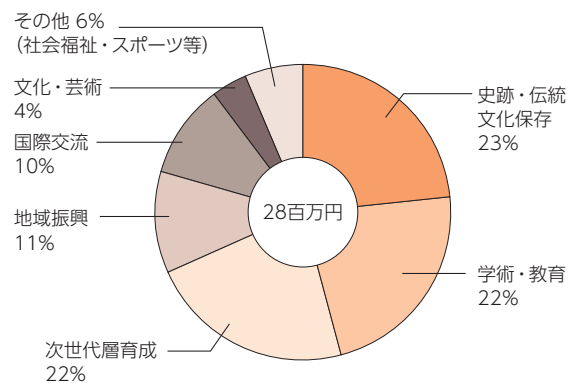


## 寄附を通じた地域・社会への貢献

九州全域を事業エリアとし、九州の皆さまをお客さまとする当社は、「地域と共に歩み、共に生きる」という考え方のもと、地域社会の発展につながる社会貢献活動の一つとして、一企業市民としての適正な寄附活動を行っています。

2013年度 寄附総額  123百万円	電気事業に資する 大学講座への寄附	54百万円 (44%)
	自治体条例に定める 救済事業への拠出	41百万円 (33%)
	地域・社会共生活動 としての寄附(詳細は右表)	28百万円 (23%)

### ▼地域・社会共生活動としての寄附内訳



## 地域に密着した共生活動の推進

地域社会の一員としての役割を着実に果たすとともに、地域の皆さまとのコミュニケーション活動の一環として、コミュニティの安全・安心の確立に向けた取組みや地域行事への積極的な参加を行うこととしています。

### 地域のまつりへの参加

地域活性化の一環として、また、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営を行っています。

▼2013年度 まつり参加実績

参加者数：延べ約1,440名

### 地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活性化及びレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会の形成を目指して、青少年を対象としたスポーツ大会等の支援を行っています。

▼2013年度 スポーツ大会支援実績

22事業所、31大会、11種目、参加約11,870名

## TOPICS >>> おおむた大蛇山まつり「一万人の総踊り」への参加(大牟田営業所)

2013年7月、大牟田市最大のイベント「おおむた大蛇山まつり」のメイン行事である「一万人の総踊り」に、大牟田営業所、大牟田電力所及びグループ会社の従業員や家族、総勢130名が参加しました。このパレードには、地域の方々とのふれあいを目的に、総踊りが始まった1961年から参加していま

す。参加者は全員法被を着用し、「炭鋤節」「大蛇山ばやし」の曲に合わせ、地域貢献への気持ちを元気一杯の踊りでアピールし、沿道の方々から拍手をいただきました。まつりに参加したことで地域とのコミュニケーションづくりに繋がることができたほか、家族の絆を深めることができました。



「一万人の総踊り」の様子

## TOPICS >>> 「鹿児島県小学校剣道錬成会」「鹿児島県実業団剣道大会」の開催(鹿児島支社)

鹿児島支社は、地域貢献活動の一環として、2013年11月、「鹿児島県小学校剣道錬成会」及び「鹿児島県実業団剣道大会」を開催しました。

鹿児島県小学校剣道錬成会は、次世代育成の観点から鹿児島県内の剣道クラブに所属する少年剣士を対象に2012年から開催しており、今回で2回目になります。当日は80名を超える少年剣士が集い、実業団剣士や指導者による稽古会や少年剣士同士の練習試合を行いました。クラブの指導者からは「子どもたちにとって良い経験となっ

た」、「他チームや選手との交流を深めることができた」、「来年もぜひ参加したい」との声をいただきました。



少年剣士同士の練習試合



実業団剣士や指導者による少年剣士への稽古会

## 地域課題の解決に向けた取組み

### ●地域見守り活動

地域に密着した事業形態を活かし、自治体・関係団体との協定や覚書等による46のネットワークに参画し、地域の見守り活動や防犯活動への協力を行っています。

### ▼防犯、安全・安心の見守り活動

福岡県田川市、佐賀県、大分県、宮崎県日南市

### ●「子ども110番」活動への協力

「子ども110番」活動への協力など、子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくりを九州全域で実施しています。



のぼり

子ども110番ステッカーを貼付した車両

### ●不法投棄パトロール

業務用車両での移動中などに廃棄物の不法投棄を発見した場合、自治体へ情報提供を行う「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を24事業所で、延べ48の地元自治体と締結し、環境美化の保全に協力することとしています。

### ▼高齢者等の見守り活動

福岡県	北九州市、飯塚市、嘉麻市、水巻町、遠賀町、桂川町、苅田町、築城町、福岡市、福津市、古賀市、宗像市、志免町、須恵町、宇美町、粕屋町、篠栗町、新宮町、久山町、久米市、大川市、うきは市
佐賀県	佐賀市、嬉野市
長崎県	長崎市、島原市、雲仙市、平戸市、佐世保市、大村市、諫早市、南島原市、五島市、新上五島町
大分県	別府市
熊本県	熊本県、人吉市、天草市、山都町
宮崎県	宮崎県
鹿児島県	曾於市

### ●独り暮らしの高齢者のお宅等への配線診断

九州各地において、地域の社会福祉協議会や電気工事業協同組合、教育委員会等の皆さまとの協働により、重要文化財や独り暮らしの高齢者の方の配線診断を実施しています。



重要文化財配線診断(人吉営業所)

## TOPICS >>> 「みやざき地域見守り応援隊」としての地域見守り活動実施(宮崎支社)

宮崎支社では、2014年2月に宮崎県及び宮崎県社会福祉協議会等と「みやざき地域見守り応援隊」に関する協定を締結しました。

この活動は、高齢者の孤立死や児童虐待などを防ぎ、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進するためのものです。これまでの行政や民生委員、社会福祉協議会などに加え、民間事業者の協力を得ることで見守りの層を厚くし、住み慣れた地域で安心に暮らせる社会づくりを目指し

て取り組まれており、宮崎支社も民間事業者として協力を行っています。

「みやざき地域見守り応援隊」に参加する事業者は車両等にステッカーを貼



車両等に貼付するステッカー

付し、住民の方々の異変を察知した場合は、市町村が指定する窓口へ通報することとなっています。



協定締結式

## 従業員が行う共生活動への支援

従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア休暇制度(年間7日間)や活動費用補助、社内掲示板での情報提供などの環境づくりを行っています。

これらの制度を活用して、2013年度は延べ5万人を超える従業員がボランティア活動に参加しています。

「地域社会貢献者表彰制度」では、長年にわたり地道に地域社会への貢献活動を行っている従業員を表彰しています。

年 度	2011	2012	2013
ボランティア休暇取得実績(日)	328	182.5	146
地域社会貢献者表彰(人)	33	38	19

### TOPICS >>> 北九州マラソン大会運営スタッフとしての参加 (北九州支社)

2014年2月、北九州市制50周年事業のフィナーレを飾る「北九州マラソン」が開催され、北九州支社エリアの事業所から、総勢53名がコース運営ボランティアとして参加しました。

早朝から小雨が降り続く中でのボランティア活動となりましたが、車線規制のコーンを並べたり、ランナーが安心して走れるようコース沿道に立ち、観客が走路に飛び出すのを防ぐなど、ラン

ナーの安全確保に努めました。

終了後、参加者からは「市を盛り上げる行事に一役買えて充実した気持ちです。」「一生懸命走るランナーを見てこちらが勇気ももらった。」等の声があがり、充実した一日になりました。



沿道警備の様子

### TOPICS >>> 佐賀インターナショナルバルーンフェスタのボランティアスタッフとして参加 (佐賀支社)

2013年10～11月、佐賀市において「2013佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が開催され、佐賀支社エリアの事業所からボランティアスタッフとして12名が参加しました。

この大会は、アジア最大の熱気球大会で、世界各国から多くの選手、観光客が佐賀に集い、単に競技だけではなく、たくさんの海外バルーンリストとの国際交流の場となっています。

今回のボランティアでは、主にキャラクターをかたどった「バルーンファンタジア」でのバルーン立ち上げから回収までの作業や子どもたちとの撮影

会、気球教室のお手伝いなどを実施しました。自分達も選手と同じクルーとして参加しているような感覚で、楽しみながら活動することができました。



バルーン立ち上げの様子



バルーンフェスタの風景

## グループ会社における地域・社会共生活動

### グループ会社における取組み

九州電力グループは、グループの行動憲章として「事業活動や社会貢献活動を通じ、地域・社会の皆さまと協力し、その発展に積極的に寄与する」ことを掲げ、社会的課題解決へ向けた事業活動の展開や次世代層育成への取組み等、様々な形で地域社会の持続的発展に向けた共生活動を推進しています。

### グループ一体となった地域・社会共生活動の実施

九州電力グループでは、グループ一体となって取り組む社会貢献活動として、毎年、書損じ・未使用ハガキ、使用済切手、外貨(コイン)を収集する「収集ボランティア」を実施しており、地域のNPOやボランティア団体など、地域・社会の課題解決に取り組む団体へ収集物を寄付しています。また、寄付した団体との協働によるボランティア活動も展開し、地域の課題解決に取り組んでいます。

2013年度は、福岡県八女市黒木町において、2012年7月に発生した九州北部豪雨災害からの復旧に取り組むNPO法人山村塾と協働し、災害復旧ボランティア活動を実施しました。

九州北部豪雨災害の被災地では、復旧作業が着実に進められているものの、完全復旧にはまだ時間を要する状況にあります。こうした状況を踏まえ、九州電力グループ一体となった地域・社会共生活動の一環として、九州電力及び

グループ社員とその家族延べ82名が参加し、山村塾からの呼びかけに応じて参加された一般のボランティアの方々と一緒に、災害復旧ボランティア活動を行いました。

九州電力グループでは、引き続き地域の課題解決に貢献するため、今後もグループ一体となった活動を展開してまいります。



林道側溝の復旧作業(土砂・石除去作業)



棚田の石積み復旧作業



棚田の畦及び水路の復旧作業

### NPO法人 山村塾 事務局長 小森さんからのメッセージ



NPO法人 山村塾 事務局長 小森 耕太さん

2012年の九州北部豪雨災害では、山村塾の拠点のある笠原地区全体が、甚大な被害を受けました。復旧作業は進み、町は災害前の姿に戻つつありますが、機械による作業が難しい棚田や水路などの復旧は、人手に頼らなければなりません。

九州電力グループの皆さんには、そのような人手での作業が必要な棚田や茶畑、林道側溝の復旧作業などにご尽力いただきました。どれも力のいる作業であり、慣れない作業で大変だったかと思いますが、おかげさまで予想以上に復旧作業が進み、一部は2014年から棚田米の作付けができるほどまで回復することができました。

今後は、棚田の復旧活動に加え、災害で耕作放棄された土地の維持管理を、ボランティアを募集しながら実施していく予定です。引き続き、笠原地区の復興へのご協力をお願いします。



## TOPICS >>> 職場体験学習「福岡航空少年団と福岡海洋少年団の合同による格納庫見学とフライト体験」～西日本空輸(株)～

西日本空輸(株)では、毎年、社会人講話や職場体験学習などを受け入れることにより、社会貢献活動を行っており、今回は、「福岡航空少年団」と「福岡海洋少年団」が合同で、格納庫の見学やヘリコプターの体験搭乗を行いました。

当日は、関係者及び団員を含め50名が格納庫を見学しました。格納庫内で

の注意事項を聞いた後、ヘリコプターの具体的な説明を受けました。ヘリコプターの製造国、速度、航続距離等の説明を行うと質問が飛び交い、子どもたちは興味津々の様子で、「近くで見るとやっぱり大きいね」「青色のヘリコプターかっこいい」と、元気いっぱい話してくれました。

その後、2回に分けて合計10人が搭乗し、福岡市東区の上空を中心に約10分間のフライト体験を行いました。

同社では、今後も職場体験学習の受け入れなどを行い、施設見学やフライト体験を通じた次世代層育成支援に貢献していくこととしています。



ヘリコプター前での記念撮影



ヘリコプターの説明の様子

## TOPICS >>> 地域環境美化活動「フラワーボランティア」への参加 ～(株)ジェイ・リライツ～

(株)ジェイ・リライツは、地域・社会共生活動の一環として、2006年に北九州市道路サポーターの会に加入し、地域の道路の美化に取り組んでいます。また、北九州市が主催する「若松コスモ街道づくり」(2011年度に終了)や、2012年度から始まった「若松区フラワーポットボランティア」にも年間を通して参加しています。

同社は、北九州市道路サポーターとしての5年に及ぶ活動が高い評価を得て、2012年度に北九州国道事務所長から感謝状を授与されました。2013年度には、フラワーポットボランティアをはじめとする活動が、美しいまちづくりに貢献したとして、北九州市長より感謝状を授与されています。

同社では、今後もこのような美化活動を通じ、地域共生活動に取り組んでいくこととしています。



フラワーポット植栽の様子



フラワーポット設置風景



感謝状

## 事業活動を通じた取組み

### 医療救護施設へのポータブル電源装置の適用に関する取組み

当社は、電力事業における夜間作業の効率化・静音性向上などを目的として、リチウム電池を適用したポータブル電源装置を開発しました。

このポータブル電源装置は、東日本大震災の被災地（日本赤十字社の臨時医療施設）において、空調や照明用電源として活用され、医療支援活動に大きく貢献しました。

これがきっかけとなり、2011年11月から熊本赤十字病院、当社グループ会社の光洋電器工業(株)と共同研究を実施し、国際救援・復興支援活動で活用できる

太陽光充電制御ユニットやモバイル型ポータブル電源装置の開発などに取り組んでいます。

この取組みが高く評価され、2013年7月に熊本赤十字病院から感謝状をいただきました。



被災地臨時医療施設での貸出し



太陽光充電制御ユニットの開発

## TOPICS >>> 「地域の安全と安心の確保」と「人と多様な生物の共生」をめざして ～耳川水力整備事務所の取組み～

2005年の台風14号による記録的な降雨の影響で、山の斜面の崩壊や過去最大の浸水など土砂に起因する甚大な災害が発生した耳川(宮崎県)では、「地域の安全と安心の確保」と「人と多様な生物の共生」をめざして、山地から河川、海岸に亘る流域関係者が一体となって、様々な協働の取組みを進めて

います。(耳川水系総合土砂管理計画・2011年10月宮崎県策定)

この中で耳川水力整備事務所は、ダム設置者として、河川の安全、水の利用及び環境保全の観点から、ダムの改造を行い(2011年11月着工)、ダムにおける土砂流下を継続的に実

施・改善していく取組みなど、これらの協働の取組みに対し積極的に参画しています。

### ■土砂流下を行うためのダムの改造



山須原ダム(改造前)



山須原ダム(改造後イメージ)

## TOPICS >>> 一ツ瀬川濁水軽減対策の取組み

一ツ瀬発電所は、宮崎県中央部を東南に流下して日向灘に注ぐ一ツ瀬川の中流部に位置し、九州で最大規模の貯水池を有する出力18万kWの水力発電所です。

当発電所は、運転開始後間もない1965年頃から、一ツ瀬ダムにおいて濁水が長期化する現象が見られるようになり、下流の利水、漁業、景観に影響を及ぼすようになりました。このため、当社は1974年に選択取水設備を設置、その後も種々の対策を講じてきました。

ところが、2004、2005年と相次ぐ大型台風の来襲により、2年連続して100日を超える濁水長期化が発生し、

特に2005年の台風14号では、その日数は約8か月にも及びました。

現在、2008年に宮崎県、流域市町村、学識経験者及び当社で構成される「一ツ瀬川水系濁水対策検討委員会(現：評価検討委員会)」で策定された「一ツ瀬川濁水軽減対策計画書(改訂)」に基づき、当社の役割であるダムでの濁水対策設備工事や中下流域の河川環境モニタリング等を行っています。

また、流域の皆さまに流域全体の河川情報をリアルタイムでお伝えできるよう、当社が中心となってシステムの検討、構築を行った流域情報監視システムは、「評価検討委員会」の管理・運営の

下、2011年8月に運用を開始。現在、多くの方々に閲覧いただいています。

今後も、濁水軽減対策について、宮崎県をはじめ流域関係者の皆さまと一体となって積極的に取り組んでいきます。



一ツ瀬川濁水対策情報